

4 - 5 高田菱形基線の変動

Deformation of Takada Rhombus

国土地理院 測地部 地殻活動調査室
Geodetic Division and Crustal
Activity Research Office,
Geographical Survey Institute

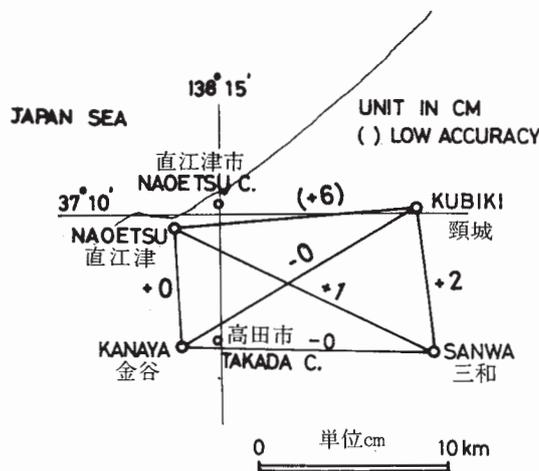
高田菱形基線は図の如く、高田市を含み、直江津、金谷、三和、頸城の4測定点で構成されている。この菱形基線が、1972年4月に測定されたが、1971年6月の旧測定値と比較すると、表の如く、最近一年間の変動量では、測距の誤差の範囲内で有意な変動は認められない。頸城 - 直江津間の + 6 cm の変動量は日中 (10 時 ~ 11 時) の観測値のため精度が悪い。

同地方の地震活動 (本会報高田地方の地震活動) の余震域はこの菱形基線を含まないため地震活動との関係はみられない。

第1表 高田菱形基線の変動

	旧 昭和46年6月	新 昭和47年4月	(新 - 旧)
頸城 - 三和	7837. ^m 375	7837. ^m 391	+ 0.016 ^m
" - 金谷	14318.826	14318.825	- 0.001
" - 直江津	13014.404*	13014.467	+ 0.063
三和 - 金谷	13006.492	13006.491	- 0.001
" - 直江津	15427.088	15427.097	+ 0.009
金谷 - "	6666.225	6666.228	+ 0.003

* : 日中 (10 h ~ 11 h) の観測値のため精度悪し。



第1図 高田菱形基線

Fig 1. Takada Rhombus